

こんにちは

庄内町議会



No.77
12月議会号
5.1.15



ばり うまか！

あなたが選ぶ
日本一おいしい米コンテスト

関連記事P14

- ◆町営風車和解へ……………〈議案〉P. 2
- ◆町営住宅大規模改修……………〈補正予算〉P. 3
- ◆町民の暮らしやすさを求め…〈一般質問〉P. 5
- ◆議会への関心高まる……………〈議会傍聴〉P.12

町営風車 オイル漏れ 和解へ

議案

12月定例会

会期

12月6日(火)から
9日(金)まで

各会計補正予算

6件

条例制定
6件

条例設定
3件

事件案件
3件

発議
1件

以上
19件

原案どおり
可決



こんなにオイルが

狩川地区

令和4年9月12日に町営風車より、オイルが外部に漏れ、農地や農道に飛散したことを受け、農地の所有者5人との和解及び損害賠償額が確定しました。

被害を受けた圃場は約2ヘクタールで、水稻刈取り及び収集運搬処分費用、損害賠償額とを合わせた額は65万9千4千円となりました。



完成まちどおしい

庄内町立川複合拠点施設

条例設定

庄内町立川複合拠点施設の利用料金が決まりました。

レンタルオフィスの使用料(24時間利用可)

オフィス1〜3

1万5千円/月

オフィス4

2万1千円/月

指定管理者が決まりました

1 施設の名称

庄内町カーポート
ソレイユ最上川

2 指定管理者

庄内町小出新田字
大谷地52番地6
富樫運輸建設株式会社
代表取締役 富樫善明

3 指定の期間

令和5年4月1日から
令和8年3月31日まで

給与条例が一部改正されました

県人事委員会の勧告を踏まえてのもので、一般職は、勤勉手当を0・1箇月分、再任用職は0・05箇月分、特別職は期末手当を0・07箇月分引上げとなりました。

補正のポイント



あたたかくなるね

山谷町営住宅

平成3年に新築した山谷町営住宅の外壁工事、断熱効率をあげるための工事です。窓の複層ガラス化や外断熱化、屋根の改修などを行います。

山谷町営住宅B棟大規模改修工事
1億1218万円

令和4年度一般会計補正予算(第6号)は、予算総額に収入支出それぞれ2億2000万円を追加し、総額128億8087万円とするものです。主な支出として、山谷町営住宅B棟大規模改修工事1億1218万円、エネルギー・物価高騰に伴う子育て世帯支援事業462万円、庄内町結婚新生活支援事業費補助金330万円等です。

賛成全員で可決



結婚したら庄内町へ

30～39歳以下	29歳以下
上限30万円	上限60万円

これから夫婦として新生活をスタートさせようとする世帯を対象に、結婚に伴う新生活の費用(家賃・引越費用など)を応援します。

庄内町結婚新生活支援事業費補助金の追加
330万円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業で、最上川土地改良区への原油価格高騰に対する補助金です。令和4年4～9月分の電気料金上昇分の一部を支援します。

農業水利施設原油価格高騰対策事業
347万円

これまで支給対象外だった15歳～17歳までの子どもを持つ保護者への支援事業です。ひとりあたり1万円を支援します。

エネルギー・物価高騰に伴う子育て世帯支援事業
462万円

臨時会 11月11日

令和4年度庄内町の一般会計の補正予算(第5号)は、予算の総額に収入支出それぞれ2億581万円を追加しました。
 主な支出としては、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金8000万円、水道料金等生活応援事業負担金3130万円、介護、障がい者施設の原油価格高騰対策支援事業880万円等です。

賛成全員で可決

電力・ガス・食料品等

価格高騰緊急支援給付金

8000万円

住民税均等割非課税世帯・家計急変世帯を対象に、1世帯あたり5万円を給付します。



寒いところ ご苦労さまです



ダンボールよく作ったね

介護、障がい者施設の

原油価格高騰対策支援事業

880万円

町内に住所を有する介護施設・事業所(17事業所)、障がい者施設(6事業所)の光熱費の補助として支援します。

お詫びと訂正

令和4年10月15日に発行いたしました広報誌「こんには庄内町議会です」NO76号9月議会号において、内容の一部に誤りがございましたので、お詫びと訂正をさせていただきます。
 なお、庄内町議会のホームページ上では訂正後を掲載しています。

11ページの決算特別委員会(特別会計・企業会計)の一覧表に税務町民課を追記します。

特別会計・企業会計

誤				他
1	工藤範子	保健福祉課	・国保 ・介護	基金の運用 決算の概要
正				他
1	工藤範子	税務町民課 保健福祉課	・国保 ・介護	基金の運用 決算の概要

同じく11ページ 福祉「一人暮らしの手助けはどうか」工藤範子委員 町長の回答の修正

町長 (誤) 今後は保健福祉課と連携を図るよう検討したい。

町長 (正) 国保ヘルスアップ事業では、生活習慣病や疾病等の予防対策が中心であることから、取り組んでいない。

町民の暮らしやすさを求め 12人が町政を問う

一般質問

12月7日(水)・8日(木)



庄内町議会HP



12人25項目の質問（●印を掲載）

真剣なまなざしで

余目第二小学校6年生

- 渡部 伊君子議員
 - 歯周疾患検診…………… P 6
- 加藤 将展議員
 - 新型コロナウイルス感染者が全国
トップの要因と取り組み
 - 物価高・円安の影響と対策…………… P 9
 - マイナンバーカードの申請・取得が
進まない理由
- スルタン・ヌール議員
 - 弾道ミサイル落下の行動…………… P 6
- 上野 幸美議員
 - 豪雨による防災・減災対策…………… P 7
- 奥山 康宏議員
 - 農業振興
 - 旧国道の速度制限…………… P 7
- 石川 武利議員
 - 小・中学校の統廃合
 - 学区に関連したまちづくりの
ビジョン…………… P 10
- 吉宮 茂議員
 - 町長の政治姿勢…………… P 8
- 中山間地域に於ける担い手への
集積集約化
- 齋藤 秀紀議員
 - 防災…………… P 11
 - 子育て
- 工藤 範子議員
 - 人口減少…………… P 8
- 小野 一晴議員
 - 図書館建設工事
 - 行政によるワクチン接種
 - 武道館改築…………… P 11
- 伊藤 和美議員
 - 防災計画・避難所運営マニュアル
の評価と改善
 - 庄内町で安心して
子どもを産み育てるための
産前産後の支援…………… P 9
- 企業誘致
- 住宅用火災警報器
- 物価高・円安の影響と対策…………… P 9

※国民皆歯科健診：年代関係なく国民全員が定期的に歯科健診を受けることを目標とする。

歯周疾患 健診

無料の皆歯科健診を実施すべき

町長 全て無料化はどうかと考える



わたなべ いくこ 議員
渡部 伊君子

問 国の「骨太の方針」で「国民皆歯科健診」の導入が検討されている。歯周病は歯を失うだけでなく、さまざまな全身疾患と関連している事が報告されている。歯周病を予防する事が全身の生活習慣病を予防し、また、医療費の削減にもつながる。

町の歯周疾患検診は対象年齢が限られていて、自己負担金がある。全成人が無料で受けられる、町独自の「庄内町皆歯科健診」を実施すべきと考えるがどうか。

町長

本町の歯周疾患検診は、健康増進法に基づき実施している。対象者は同法に基づき定められた事業実施要領に規定する年齢の方である。

令和3年度の受診率は、受検対象者の3・4%。これ以外に定期的な通院

として38%の方が歯科医院に通われている。

自己負担額は、近隣市町村の動向も加味しながら判断している。個人的に歯科検診を受診している方は100%自己負担である。その方々とのバランスを考えると、全て無料化はどうかと考える。



歯は大事です

避難訓練

ミサイル落下時の体制強化せよ

町長 訓練が必要である



スルタン・ヌール 議員

問

Jアラートが流れた場合、地域で避難場所がなく今回のような北朝鮮から日本に向けてミサイルが発射された場合、町民の避難計画や本町の指令命令系統等のソフト面や実際の避難場所等のハード面について、どのような体制を考えているのか。

町長

弾道ミサイルにより本町に被害が発生した場合は、「庄内町国民保護計画」に基づき行動することとなっている。

なお、本町には避難が

問

弾道ミサイルが発射された場合に

可能な地下施設はない。また、できる限り堅牢な建物に避難することが望ましいが、実際に着弾するまで時間的な猶予がなく、対応は難しいと思われる。

町長

今後、弾道ミサイルが発射された場合に備えた訓練が必要である。また、その際にどのような行動が必要なのか、シミュレーションが必要と考える。

備えた対処訓練が必要ではないか。



ミサイル訓練必要だ 総合防災訓練

豪雨対策

田んぼダム推奨せよ

町長

農業者の理解が必要



うえの ゆきみ 議員
上野 幸美

問

豪雨による水害被害が各地で発生し、本町の市街地の排水対策は、深刻な課題である。市街地の総合病院の移転もあり、排水対策にどう対応していくのか。

国は、豪雨時の降雨量増加対応として、防災・減災に繋がる田んぼダムの取組を推奨している。また、議会調査報告書でも実施に向けて検討すべきと提言している。近隣地、因幡堰土地改良区いんぱんせきの先進事例もあり、視察するなど、田んぼ活用による防災・減災への取組を推進してはどうか。

町長

病院移転については、令和5年4月1日以降、具体的に動きが始まる。その中で排水対策についてしっかりと協議しなければならぬ。なお、令和5年度から毒蛇排水機場や中央排水機場の稼働が予定され、その他の排水機場も順次

計画が進められている。田んぼダムによって、万が一作物に不利益があった場合、誰が補償するのか、そのような課題も含んでいる。農業者の理解が一番必要。また、活動組織内で一定の合意も必要と考える。



田んぼに水をためて

旧国道の速度制限

集落内の旧国道 速度制限を

教育長

地域の要望を伺い検討したい



おくやま やすひろ 議員
奥山 康宏

問

古閑地内の旧47号線において、集落内を通る道路にも関わらず、速度制限を設けていない箇所がある。小学生の通学路や、幼稚園、中学生のバス停もあることから、速度制限を設けることを検討するべきではないか。

南野バイパスが開通してから、自動車の交通量も減り、住民は安心して生活をしているが、真つすぐで広い道路幅なため、スピードを落とさないで通過する自動車も見受けられる。早期に速度制限を設けるべきではないか。

教育長

速度制限については、町からの要望を受けた管轄の警察署であるか、人口が集中しているか、交通量の多さ、事故の発生件数、重大事故が発生しているか、歩道や路肩の有無などを調査し、最終的に県の公安

委員会が決定する。しかし、この道路は速度制限の基準に適合していない。今後、速度制限設定については、余目第四小学校通学路交通安全対策連絡協議会で地域からの要望等も伺いながら検討をしていきたい。



ゆっくり走ってほしいな

町長 政治姿勢

公約の実現を図れ

町長

メリットとなるよう見直したい



よし みや 吉宮 茂 議員

例は、他の自治体と比較しメリットとなるよう見直しを図っていききたい。

問

町長は、昨年の首長選挙に於いて12項目の公約を掲げているが、特に以下の2点について伺いたい。

町長が先頭に立ち、企業誘致を行うとあるが現状はどうなっているのか。

町長

企業誘致検討会を立ち上げ、商工町関係課が構成メンバーとなり4回行ってきた。今後、サテライトオフィスの誘致、臨空工業団地あまるめの分譲完了を目指す。また、企業振興条

問

医療や買い物で不自由しない町をつくらなければならないが、特に庄内余目病院に対する支援策をどう考えているのか。

町長

庄内余目病院については「私的二次救急病院救急体制確保補助金」の支援を継続していく。また、移転計画に係る手続等について相談・サポートなど支援体制を強化していきたい。



企業がいっぱい来るといいね

人口減少

子育て支援を拡充せよ

町長

町の強みを生かし取り組む



くどう のりこ 工藤 範子 議員

本町における子育て支援は、経済的な支援だけではなく、ライフステージに応じたニーズを把握し、支援を総合的に取り組んでいく必要があると考える。例えば企業誘致や移住定住への施策など、町の強みを生かしながら、取り組

問

町の人口は、9月末で2万人を切った。

人口減少は、税収の減交付税への影響等課題が多く負の連鎖になる。町の令和2年の特殊出生率は、1・22で国の人口を維持する2・07には程遠い。

報道にある岡山県奈義町（人口6千人余り）は2・95である。同町の子育て支援は高校生1人当たり、年間13万5千円を支援している。先進事例は全国各地にある。若い方々が子どもを生み育てる施策を行うべきではないか。

町長

本町における子育て支援は、経済的な支援だけではなく、ライフステージに応じたニーズを把握し、支援を総合的に取り組んでいく必要があると考える。例えば企業誘致や移住定住への施策など、町の強みを生かしながら、取り組む



今日はパパの番

子育て支援

産前産後の公共サービスは

町長 利用しやすい事業を検討したい



伊藤 和美 議員

問

産後は子育てへの負担感や精神的肉体的にも疲れがあり不安を抱える女性が多い。特に核家族や里帰りをせず身近に頼れる身内がない場合は、育児家事負担が多く孤立を招き、産後うつが心配される。母子保健での「産前産後サポート事業」や「産後ケア事業」など相談・ケア事業はあるが、子育て中には、育児や家事代行、助産師の訪問による母乳マッサージなど具体的な手助けが必要。家族以外で頼れる公的なサービスは考えていないか。

町長

産後援助要請の実績はないが、今後、子育て支援担当課と母子保健担当課とが連携し、周知を図り、支援を必要とされる方が利用しやすい事業を検討していきたい。

なお、事業所の中には民間の専門の事業所もある。シルバー人材セン

ターでは高齢者の家事支援を行っていた。例えばその会員の中に元保育士の方がいれば、そういった対応も可能ではないか。今後、支援を必要とする方々が何を望んでいるのかを含め検討していきたい。



いろんな支援あるといいな

困窮者支援

風車事業で低所得者を支援すべき

町長 検討の余地があると考ええる



加藤 将展 議員

問

原材料高や円安などを背景とする物価高騰は町の経済に与えるマイナスの影響は非常に大きい。特に収入が少ない世帯ほど家計への負担は大きいことから、年間の世帯収入が一定額を下回る全ての世帯に対して一律の金銭的支援を行い、困窮している低所得者層を支援すべきではないか。

財源は撤去が決まった町の風車の風力発電特別会計から撤去費用などを控除した余剰金を一般会計に繰り入れ、これを財源としてどうか。

町長

低所得者への支援については、国の動向も踏まえて、いつの時点でどのような支援が必要なのか、今後しっかりと検討をさせていきたい。

風力発電特別会計の余剰金の活用については、今後行われる撤去費にど

れだけかかるか全体像がはっきりしていないため、試算はまだしていない。今後、他の基金も合わせた運用も有効なものと考えており、現時点においては、もう少し検討の余地があるのではと考えている。

いよいよ撤去決まる

町営風車



まちづくりセンター

学区に関連した町づくりは

町長 地域で計画を進めることが重要



あべ としかつ 阿部 利勝 議員

問

本年度より、各公民館がまちづくりセンターに移行したが、余目中心市街地を3分割にした学区のありようと、今後、学区に関連した町づくりをどのように考えているのか。

また、従来の町民運動会は廃止され、各まちづくりセンターの判断にゆだねられるとしたが、小学校との共催運動会とした場合、小学校の振替休業、賞品や記念品の予算は従来通りなのか。

町長

各学区は、年月をかけて築き上げてきた地域の人の繋がりで、それぞれ地域で計画を進めることが重要と考える。

各まちづくりセンターでは、来年度にかけて地区計画・地域ビジョンの策定に向け、地域の課題や魅力、将来的にどのよ

うな地域にしていきたいか協議を重ねていただいている。

町民運動会が学校行事という位置付けになれば、小学校は振替休業になると思うが、話し合いはされていない。また、予算については具体的に議論していない。



地域で見守りたい

民生委員

なり手不足を解消せよ

町長 意見を伺いながら検討したい



いしかわ たけとし 石川 武利 議員

問

民生委員は、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要に応じて援助し、社会福祉の増進に努める方々であり、一方で子どもたちが元気で安心して暮らせるように、子どもたちを守る「児童委員」も兼ねている。最近、民生委員のなり手不足が取り沙汰され、そのことが、現在も継続され、しかも増加している。本町における民生委員・児童委員の現状と課題について町の考えはどうか。なり手不足解消策はあるのかどうか。

町長

先般、民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、条例定数69人に対し委嘱された方は58人で11人が欠員となった。なり手不足の要因として、複数の自治会に一人の委員が配置される場合、他の自治会も担当しなければならぬこと。

また、自治会の世帯数が多い場合、一人当たりの負担が大きいことがあるようだ。

なり手不足の解消に向けては、後日、委員の皆さんからいろいろご意見を伺いながら、何が有効か、何ができるのか、検討していきたい。



ぜひ民生委員に 鈴木龍一副会長

防災

マンホールトイレの整備をせよ

町長 他の情報も合わせ検討したい



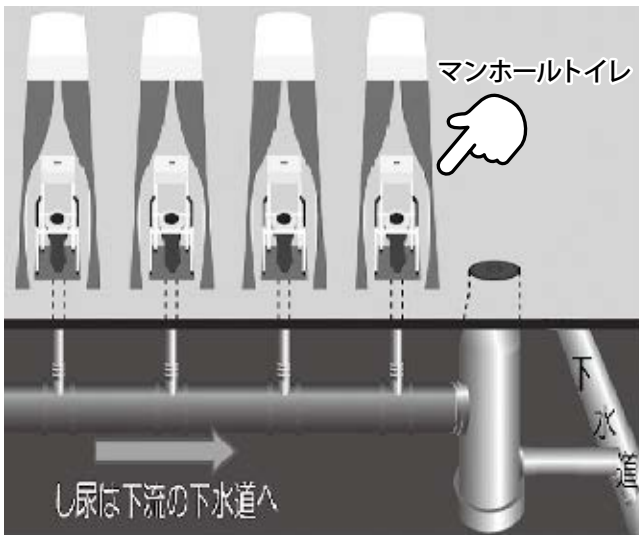
さいとう ひで き 齋藤 秀紀 議員

問

防災基本計画におけるマンホールトイレの整備は、地方公共団体が地域防災計画に位置付けて取り組むべき事項となっている。本町の取り組みでは、本庁舎で3基設置となったが地域防災計画や下水道管理者が策定する下水道BCPにマンホールトイレの整備方針等が位置付けられているか。また、マンホールトイレの重要性を考慮、今後、町としての整備をどのように進めていくのか。

町長

地域防災計画及び下水道BCPの中にはマンホールトイレの整備計画は載っていない。本庁舎のマンホールトイレは、防災拠点という位置付けで本庁舎整備の際に一緒に整備したものの。災害時におけるトイレの確保は非常に大きな問題であり、避難所の近くにマンホールトイレがあることは有用性がある。今後、避難所に指定している施設の建替えの際には本庁舎同様、設置を検討していくことになると思う。他の情報も合わせ検討していきたい。



災害の時にも安心

武道館

建設は現在地に

教育長 財政的に有利か検討したい



おの かず はる 小野 一晴 議員

問

武道館を改築する際、国の交付金である地域武道センター新築事業を活用した場合は、建設場所を移すと解体費用が交付金の対象にならない。建材にアスベストも含まれていることから多額の町独自財源が必要となる。改築の財源と利便性を考慮すると、武道館として申請するより、中学校を改修・改築する際に、中学校の付帯施設として文科省の学校施設環境改善交付金に申請し、現在地に改築することを検討してはどうか。

教育長

武道館を中学校敷地に建てるとした場合、敷地があるか問題になる。もし可能であれば、長寿命化工事の検討に含めてみたい。なお、学校施設の場合、子どもの人数によってその学校の補助対象になる面積が出てくる。現在、体育館は2つあり、新しく武道館を整備する場合、補助金がそこまで回ることか心配される。別の補助金がないか総合的に見ないと、どちらが財政的に有利なのか分からない。今後、検討していきたい。



よい方法あるかな

武道館

○ようこそそ議会傍聴へ(アンケート等)



議員へ

- ・町の進む方向性を町長と共に情報交換を行う事でよい町づくりをお願いいたします。また、世界より日本、日本より山形、山形より庄内町の事柄に集中してこの地区に必要な事柄を協議していただき、町民すべてが安心感を実感できる町にしてください。
- ・自分の支持者が堂々と発言して良かった。
- ・質問の主旨がわからない。
- ・学校の統廃合についておもしろい。
- ・質問は分かりやすく、簡素化した内容にしていただけたら良いと思う。
- ・議員によって分かりやすい方と分かりにくい方がいらつしやると思いました。
- ・議員により質問の仕方でも分かりやすく、つづいた内容がとても良かった。行政の検討を期待します。
- ・町民の一人一人(年代・男女)、施策がいきわたるように、質問者が訴えていたところが印象的だった。

議会全体へ

- ・質問と答との会話が噛み合わない点が多い。
- ・課長は、もう少し勉強するべき。すばらしい課長もいた。
- ・答弁者の氏名を議長が言つと議会の緊張感が伝わる。
- ・初めて傍聴してよかった。具体的な事例が多く、分かりやすかった。
- ・事前に通告しているのにかかわらず、よく調べていない。やる気が見られない。もっと調べて答えていただきたい。
- ・身近な質問だったので傍聴に来てみたが、質問内容、町の説明内容ともに分かりやすく勉強になった。
- ・休憩時間の取り方が、議員の質問途中で取られている。議員間の質問の間で取るような時間設定ができないのか。(二人の議員が6分通して質問できるように)

その他の意見

- ・民生委員のなり手不足の件、他の団体や組織(自治会長・役員・消防団員・地区民俗芸能継承)も同様な状況にあります。皆様からのご支援を宜しくお願い致します。

議場設備について

- ・マスクのせいか聞き取れないことがあった。
- ・議場内がだいたい暑かった。
- ・答弁の音が聞きにくい点がありました。
- ・答弁がスクリーンに記されてわかりやすい。(要約筆記はエバーサルデザインである)
- ・傍聴席がものすごく近くて臨場感がありました。



うんうん そうだよね

余目第二小学校 六年生のみなさんより



- ・町の説明の内容がわかりやすく伝わり、よかったです。
- ・少し言葉が難しかったけど、どんなことについて話しているかは、だいたいわかった。
- ・相手に聞かれたことを即座に返答できて、すこかったです。
- ・要約筆記の人の書くスピードが速かった(良い意味で)。
- ・分かりやすく答弁していて良かった。
- ・議会の内容は難しかったけど、一生懸命やっていったのが伝わって、頑張っているなと思いました。
- ・何回もやり取りをされていて、あきずに見ることができた。議員になった人もがんばっているなあと、行って気付いた。
- ・一つや二つの質問に何十分もかけて話していて、本当に町や町民のことを思っていて話してほくたちのためにしてくれて、ありがたいと思います。
- ・防災計画、避難所マニュアルの改善の仕方がわかった。
- ・早口でわかりにくい。聞き取れない(他3人)。
- ・政治は苦手だけど勉強になった。
- ・声が大きくて聞きやすかった。町の動きがわかった。議会の話し合いの内容がよかった。
- ・産前産後の支援について、という質問はいいと思った。産後つななどに苦しむ人が減ればいいと思った。

傍聴者は合計 79人でした。短時間の傍聴も可能です。

多くの皆様よりアンケートにご協力
いただきありがとうございます。
今後より良い町政を目指し、議員各
位が切磋琢磨していきたいと思えます。

議会より

各常任委員会も
傍聴できます。

庄内町議会
ホームページから
生中継や録画を
閲覧できます。

マスクの着用を
お願いします。



議会中継サイト

①傍聴にきてよかった	55人
②勉強になった	40人
③おもしろかった	10人
④緊張感があった	27人
⑤議会が頑張っているのがわかった	37人
⑥町の動きがわかった	24人
⑦議会のやりとりがわかった	50人
⑧議会のやりとりがわからない	10人
⑨質問の趣旨がわからない	4人
⑩答弁が適切でない	3人
⑪ネット中継で十分だと思った	1人
⑫議会の熱意が伝わらなかった	1人
(複数回答)	

次回定例会は、

3月7日(火)～20日(月)

予定です。

令和4年12月定例会	傍聴者数
6日(火) 議案等審議	1人
7日(水) 一般質問	8人
8日(木) 一般質問	70人
9日(金) 議案等審議	0人

町民と語る会が行われました

「風来風流の会」を核としたまちづくりについて

開催日時：令和4年8月1日(月)
主催団体名：狩川地区自治会長会
開催場所：狩川まちづくりセンター・大ホール

参加人数：15人 (狩川地区自治会長ほか14人)
語り合った議員：主催者より、旧立川町出身議員に
お声掛けがありました

主な質問と回答

林道と風車

質問 町の管理になっ
てから問題になってい
る立川林道の整備はど
うするのか。山の木を
伐採して運ぶにも、林
道が整備されてなく出
来ない。また、風車の
1200万円の使い道
はどうなっているの
か。

回答 林道整備も含め
て、町民がこうして欲
しいと言う要望を出す
事も可能だと考える。
農山漁村活性化の町の
プロジェクトチームが
あり、資金の使い方を
考えている。年度内で
使い切るのではなく、
5～6年の計画を立て
て検討するとしてい
る。

質問 今年度、余目の
空き家2件の解体をど
のように進めたのか、
解体に至るまでの状況
がわかれば教えて欲し
い。立川地区にも空き
家物件が多いため参考
にしたい。また、解体
が進まない場合、町の
負担で解体することも
できるのか。

空き家対策は

回答 担当課が、所有
者と根気強く交渉した
結果、所有者の責任に
おいて解体したものと
聞いている。その際、
町から「老朽空家解体
支援事業補助金が交付
された」と聞いている。
危険な状態の空き家
が所有者の理解を得ら
れず放置された場合、
最終手段として、行政
代執行での解体も法的
には可能である、しか
し支出されるのは公金
であり「放置しておけ
ばそのうち町が何とか
してくれる」とのモラ
ルハザードになっては
ならないため、簡単で
はない。

その他話し合われたこと

- ・狩川市街地、夜間大
型車両通行時の振動
問題について
- ・現在運休になってい
る陸羽西線について

※老朽空家解体支援事業補助金：

事業費の2分の1とし町内業者施工の場合上限50万円、町外業者施工の場合上限40万円

生声ひろば

あなたが選ぶ
日本一おいしい米コンテスト
余目第四まちづくりセンター



う〜んみんなおいしいな

ばりうまか!

おこめ



お米の日本一を選ぶ「第16回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」の決勝大会が11月26日に庄内町で開かれました。全国から5000人の審査員による500点59品種が選ばれ、このうちメジャー部門12点(4品種)、プレミアム部門12点(3品種)、高校生部門6点(5品種)が決勝大会に選出。決勝では15人の審査員による外観、香り、味、粘りなどにより、最優秀金賞、優秀金賞が決められました。

- 加し、優秀金賞を受賞した長崎県立大村城南高等学校 栽培環境部の岡本湊月(1年生)さんに伺いました。
- 問** 学校での農業の取り組みはどうですか。
- 答** 「スマート農業のチャレンジや食農体験を大切に取組んできました。」
- 問** 今回受賞しての感想はどうですか。
- 答** 「本當にうれしい。来られなかった3年生の分もいっぱい勉強できたと思います。」
- 問** これからの夢などはありますか。
- 答** 「まず3年間は授業や田んぼアートなどしっかり取り組んで、卒業後は大学へ行きたいです。」
- 問** 最後に、庄内町の印象はどうでしたか。
- 答** 「気候が違うし、家のつくりが全然違う。山の雪がとてもきれいでした。」

高校生の皆さんが丹精込めた米作りの経験は、将来きつと豊かな食を支える大きな力になると感じました。

(將)

要約筆記 ありがとうございます

本町議会は独自の活動として、以前から要約筆記を導入しています。

12月定例会では8日の一般質問の際に実施しました。「答弁がわかりやすい」と好評です。

- 要約筆記の会やまびこ 代表 柿崎 明子
- 要約筆記ばんけの会 代表 菊池みつ子



花き提供

議場に生花を提供いただきました。



庄内町花き振興会

新年にあたって

議長 石川 保



あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、大きな希望をもって新たな年を迎えられたこととお喜び申し上げます。さて、昨年一年の世相を表す漢字は「戦」でありました。ロシアのウクライナ侵攻により「戦」争の恐ろしさを目の当たりにした一年で、円安・物価高による生活上での「戦」い、スポーツでの熱「戦」、挑「戦」も注目されたとしています。3年目を迎えた新型コロナウイルス感染症も終息の気配を見せておらず、今年こそは、心安らかに日々が送れる年になりますよう、願ってやみません。

議会も、昨年6月の改選から半年以上が経過しました。人口減少、産業振興など町が抱える諸課題に加え、町民の皆様の負託に応えらるるよう、14人の議員それぞれが役割と責任を自覚し、「議会活動」「議員活動」に邁進してまいります。より良い町づくりのために、ご理解とご協力を、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様のご多幸を祈念し、ご挨拶といたします。

発行人

議長 石川 保

議会広報常任委員会

- 委員長 阿部 利勝
- 副委員長 加藤 將展
- 委員 スルタン・ヌール
- 委員 渡部伊君子
- 委員 奥山 康宏
- 委員 伊藤 和美